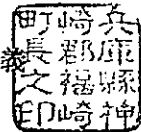


福まち第 24625 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

兵庫県 福崎町長 嶋田 正義



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のありました表記の件について、
別紙のとおり回答致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

兵庫県福崎町

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- ・ 平成21年度から道路特定財源が一般財源化されるが、地方においては今後も産業振興、防災面等から道路ネットワークの形成を図る必要がある。地方の厳しい財政状況を踏まえて、必要な整備への予算措置を図って頂きたい。
- ・ 国の厳しい財政状況において、道路整備についても事業に対する包括的な検討及び厳正な評価が求められる。また、限られた財源から事業を実施することから優先順位の明確化が必要ではないか。

○現状

- ・ 都市計画道路の整備済区間は総延長の約 50%程度であり、道路網の整備を進め道路ネットワークの形成を進めているが、交通集中による慢性的な渋滞が発生している。
- ・ 渋滞の発生等により緊急を要する病院等への搬送時に時間がかかってしまう恐れがある。
- ・ 幹線道路以外の道路では狭幅員の道路が多いため、狭隘部や通行危険箇所が点在している。
- ・ 草刈り等の維持管理に関する地域住民からの要望、苦情等が増加している。
- ・ 当町には大規模な被害が想定されている山崎断層が通っており地震発生の可能性があり、また、近年ゲリラ豪雨等水害が発生する頻度が増しているが、これら災害時に幹線道路以外に避難及び緊急輸送として活用できる代替道路の整備が遅れている。
- ・ 全国的な高速道路の整備に伴い、地方都市間で観光や企業誘致等の競争が増してきている。
- ・ 歩行者がより安全で安心して通行できる歩道設置が遅れている。

○課題

- ・ 通過交通を考慮した道路網の整備
- ・ 緊急時に通行できる道路の確保
- ・ 狭隘部及び通行危険箇所の解消
- ・ 住民の協力を得ながら実施する効率的な維持管理への移行
- ・ 代替道路の整備
- ・ 産業及び地域活性化を図る社会基盤整備としての道路整備
- ・ 歩道設置延長の増加等による交通安全対策の拡充

- ・ 道路ネットワークの形成を図ることにより、都市機能及び住居環境の向上を果たし、魅力あるまちづくりを実施する。
- ・ 狭隘部及び交通危険箇所の解消、交通安全施設の整備等を実施することにより、安全の確保を行い、また段差解消や点字ブロックの敷設等によるバリアフリー化を図ることで人に優しい道路整備を実施する。
- ・ アドプト制度を活用し、地域の身近な道路を町と協働して、清掃、草刈等の維持管理を行うことで、美化意識の向上と地域コミュニティの活性化を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

兵庫県福崎町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の整備	・町道中島井ノ口線道路改良工事	幹線道路の新設により通過交通を適切に誘導し交通の円滑化をはかる。これにより交通渋滞等を緩和し、快適性・利便性を向上させる。	
・安全の確保	・町道中島井ノ口線道路改良工事 ・県道三木宍粟線歩道設置工事	幹線道路のネットワーク整備を促進させるとともに、交通事故の低減を図る。 車両と歩行者等の通行が分離されることで、より円滑な通行が実現し、事故防止が図られ、安全性が向上する。	
・人と環境面に配慮した道路整備、交通体系	・県道三木宍粟線段差解消工事	高齢化社会の到来にあわせ、高齢者・障害者等が安全で円滑に通行できるようバリアフリー化等を図ることで、すべての人が住みやすい環境を整備する。	